

(工学部・工学研究科)
公益財団法人小林財団 2025 年度
外国人留学生小林奨学生(一般奨学生)の募集

2025.1.27

1 応募資格・・・次のすべてに該当する者

- 1) ※アジア諸国から来日し、2025 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下の私費留学生(在留資格「留学」)
※ただし、中国・台湾・韓国籍以外の者を優先する。
- 2) 2025 年 4 月 1 日現在、学部学生は 3 年次生以上、大学院生は正規生として在籍し、残在籍期間が 1 年以上ある者。
※留年者は除く。
- 3) 日本語による意思伝達が可能な者。(日本語能力試験 2 級程度以上)
- 4) 他の奨学金を受けていない者。
- 5) 異文化理解(特に日本文化理解)に意欲があり、日本人学生との交流、地域社会での国際交流等に積極的である者。
- 6) 財団が年 3 回主催する奨学生交流会に出席できる者。

Japanese proficiency equivalent to JLPT N2 level is required to apply.

2 支給金額・期間

学部生:月額 15 万円、大学院生:月額 18 万円

期間:在籍課程の正規修了年限まで。 ※博士前期の場合には最長 2 年間、博士後期の場合には最長 3 年間

3 提出書類

- 1) 奨学金申請書(所定用紙・日本語自筆・写真貼付・A4 用紙 1 枚) ※「大学の担当部課」欄は記入不要。
- 2) 履歴書 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙 1 枚)
- 3) 身上書 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙 1 枚)
※ 日本での連絡先は一時帰国等の可能性のある知人(留学生)はなるべく避けること。
- 4) 身上書の別添記入用紙 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙 1 枚)
- 5) 在学証明書 (入学予定者は合格通知書の写し)
- 6) 在留カードの写し(両面)
- 7) 成績証明書:現課程および前課程のもの (学部生は現課程のみ)
※ 成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること。
- 8) 指導教員による推薦書 (任意様式・A4用紙1枚・蔽封、工学部・工学研究科からの推薦が決まった後に提出)
- 9) 民間奨学金申請時の心得 (所定用紙)
- 10) 私費外国人留学生身上調書 (所定用紙) 11) 家計状況申告書 (所定用紙)

※ 10)～11)は、2024 年 10 月以降他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

- | | |
|----------|----------------------------|
| 4 推薦人数等 | 学部生・大学院生 各 1 名 |
| 5 申請書の提出 | 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟 3 階) |
| 6 締切日 | 2025 年 2 月 5 日(水) |

※2025 年度に他奨学金の受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外です。

令和7年度（2025年度）

公益財団法人小林財団外国人留学生奨学生募集要項

（一般奨学金）

1. 応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、アジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院に在学する者で、2025年4月1日現在、35歳以下の者
- (3) 修学のために経済的援助を必要とする者で、他の奨学金を受けていない者
（ただし、月額5万円以下の奨学金受給は可）
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- (5) 日本語による意思伝達が可能である者（日本語能力試験2級程度以上）
- (6) 国際理解と国際友好親善に寄与できる者
- (7) 奨学生交流会（年3回を予定。うち1回は研修旅行）に出席できる者

注）なお、次の者は除外します。

- ・将来、学術振興会の特別研究員事業、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援事業並びに他の奨学金への応募を希望する者

2. 新規募集人員 27名程度（財団の年間奨学生55名）

3. 対象学年

学部学生の場合：2025年4月現在、3年次生以上（6年制学部、5年次生以上）に在学する者

大学院学生の場合：2025年4月現在、正規生として在学する者

ただし、所定の必要最小限の修業年限内の者（いわゆる留年なし）を原則とする。

4. 奨学金 学部生 月額15万円 大学院学生 月額18万円

5. 奨学金支給期間

学部学生、大学院学生ともに、支給開始年度から在学課程最終年度まで、すなわち、学部及び修士（博士前期）課程学生は2年間、博士（博士後期）課程学生は3年間を原則とする。

ただし、学部及び修士課程の最上級年次の奨学生は、原則として1年間とするが、上級課程に進学した場合は、それぞれ最長2年間又は3年間の範囲内で継続が可能。

6. 募集方法

大学を通じて募集する。

7.応募の手続き

次の書類を揃え、在学する大学において指定する日までに、大学の事務局に提出する。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 身上書（所定の様式）
- (4) 在学証明書（大学院各課程入学予定者は、合格通知書（入学許可書）の写し）
- (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認）
- (6) 成績証明書：直前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等
- (7) 推薦書（学部長、研究科長又は指導教員による封緘書）
用紙は、A4サイズで1頁

8.選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事会が奨学生を決定する。

採用決定者については、4月下旬、大学及び本人に通知する。

9.奨学金の支給の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を停止又は打ち切ることがある。

- (1) 一月以上病気等により又は理由なく長期欠席したとき
- (2) 休学又は外国へ留学したとき
- (3) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (4) 学則により処分を受けたとき
- (5) 病気その他の理由により成業の見込みがないとき
- (6) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- (7) 無断で奨学生交流会を欠席したとき
- (8) 妊娠、出産等で学業が一時継続できなくなると判断されるとき
- (9) 応募書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- (10) 本財団又は本財団の支援企業（者）の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- (11) その他留学生としての資格を失ったとき

10.報告書の提出

奨学生は、理事長から求めがあったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

11.注意事項

この要項に記載してある事項について不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。

公益財団法人小林財団
 令和7年度 (2025年度) 第24期 奨学金申請書
 (一般奨学金)

公益財団法人小林財団
 理事長 小林 一雅 殿

貴財団の一般奨学金の支給を受けたく申請いたします。
 申請年月日 令和7年 (2025年) 月 日

申請者署名 _____

写真 (カラー)
 (5 × 4 c m)
 上半身の写真
 (3ヶ月以内に撮影のもの)
 裏面に氏名を書いて
 のりではりつけること

氏名 <small>(アルファベットで記入)</small>	_____, _____, _____ Family Name Given (First) Name (Middle Initial)					
氏名 <small>(漢字名又はカタカナ)</small>	(姓) (名)					
国籍	在留資格		<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 既婚			
生年月日 (西暦)	年 月 日 生	年齢 <small>(2025年4月1日現在)</small>	歳	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
現住所	(〒 -)					
	() 携帯電話:					
	() e-メールアドレス<個人>:					
	() e-メールアドレス<大学>:					
	() 携帯メールアドレス:					
※連絡の際の優先順に数字を記入し、アルファベットや数字は明確に記入のこと。						
在学大学名等	学部	大学 学部 学科 年次 (年 月 入学) (2025年4月1日 現在)				
	大学院	大学大学院 <input type="checkbox"/> 修士 (博士前期) 課程 <input type="checkbox"/> 博士 (博士後期) 課程 研究科 専攻 年次 (年 月 入学) (2025年4月1日 現在)				
	大学の担当部課等	担当部課	電話番号 (直通)			
		担当者名	()			
	指導教員等	所属 <small>(フリガナ)</small> 氏名	職名	電話番号 (直通) ()		

履 歴 書

(2025年 月 日現在)

(フリガナ)

氏 名 _____

来日年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学 歴 等 (自国の高等学校入学以降、現在に至るまで、年代順に記入のこと)

入学・卒業年月	学 校 名	専攻学科	正規年数
年 月～ 年 月	高等学校		
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
日本語能力試験	受験年月	テスト名	受験地
	年 月		
	年 月		
	年 月		
		受験級	合否及び取得点数
			合 ・ 否 /
			合 ・ 否 /
			受験予定
日本語学習歴	学校名	所在地	学習期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
兵 役	過 去	年 月 日～	年 月 日
	将来の予定	年 月 日～	年 月 日 <input type="checkbox"/> 不明
賞 罰			
(学校等での表彰を含む。)			

職 歴 (アルバイト除く)

勤務先名(所在地)	職務内容(役職名)	勤 務 期 間
()		年 月～ 年 月
()		年 月～ 年 月

身 上 書

(2025年 月 日現在)

(フリガナ)
氏 名 _____

あなたの本国の住所 _____
電話番号 _____

家 族 状 況

家 族 氏 名	続柄	年 齢	現 住 所	職 業 ・ 勤 務 先 又 は 学 校 名
	父			
	母			

経 済 状 況

収入源 (2024年度)	平均収入月額	摘 要		
(1) 本国等からの仕送り	円	仕送り者名 :		
(2) アルバイト	円	職務内容 :		
(3) 奨学金	円	奨学金の名称 :		
(4) その他の収入	円	内 容 :		
(1) ~ (4) の合計	円			
奨学金受給歴	奨学金月額	受給期間		奨学金の名称
	円	年 月 ~	年 月	
	円	年 月 ~	年 月	
	円	年 月 ~	年 月	
現在受給中又は応募中のもの	円	年 月 ~	年 月	
住居費月額(食費は含めず)	円	同居者の有無 : <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
住居区分		<input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> 学寮 <input type="checkbox"/> 会社寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他		
授業料年額 (2024年度)	円	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 一部免除 <input type="checkbox"/> 免除なし		

自分の国へ一時帰国している時、長い間旅行している時などの日本での連絡先

(フリガナ) 氏名		申請者との関係 ()
現住所	(〒)	電話() -

日本留学の目的	(別添の用紙に記入すること)
将来希望する進路 (又は留学後の予定)	(別添の用紙に記入すること)

「身上書」の別添記入用紙

(氏名) _____

○日本留学の目的 ―できるだけ具体的に書いてください―

○将来、希望する進路（または、留学後の予定） ―できるだけ具体的に書いてください―

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は黒の万年筆またはボールペンで書くこと。

令和7年度（2025年度）奨学生申請書について

在学大学名等欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名を記入する。
大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程に○印をつけること。
学年は令和7年（2025年）4月現在によって記入する。

「履歴書」について

- (1) 学歴については卒業した学校名を記入すること。（複数の場合はすべて記入）
- (2) 大学院については自分の属する課程を○印で囲むこと。
- (3) 職歴については本国および日本における職歴を記入のこと。

「身上書」について

- (1) 家族氏名欄には、父母のほか、兄弟姉妹・配偶者・子供について記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること（離別の
場合も同様）。在学中のものは学校名を記入すること。
- (3) 配偶者が留学生で日本政府奨学金、その他の奨学金を受けているときは、「経済状況」
の「(3) その他の収入」欄に記載すること。
- (4) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（または、留学後の予定）」は、
別紙用紙に記入すること（各200字以内）。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2024年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館	
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館	
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町	
	国際交流会館東仙台会館			
	県・市営住宅・民間アパート(住所)	

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2024年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号
	MC 年 DC 年	大学院研究生	
氏名			

家計状況

* 2023年4月から2024年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2023年10月入学の場合は2023年10月から2024年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2023年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

年	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2023	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）